

第122回

EVENING THEATER

栄えある2024年度第31回土木映画コンクール受賞作品 特集

最優秀賞

「【喜連瓜破 橋梁架け替え工事】
二年半の軌跡 ～100年先を見据えて
～ 工事担当者の想いに迫る！」



部門賞（一般部門）

「人々の暮らしを取り戻す 精鋭たちの
総力戦～2016-2021熊本県南阿蘇
村—技術者たちの闘い」

部門賞（技術映像部門）

「令和のリニューアル 北陸自動車道
米山トンネルのインバート補強」



2025年8月6日(水)

18:00開場 18:30開演 参加無料

土木学会 講堂（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

HPにて参加申込み受付 <https://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。
問合せ先：土木学会附属土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

【喜連瓜破 橋梁架け替え工事】 二年半の軌跡 ～100年先を見据えて～ 工事担当者の想いに迫る！

企画：阪神高速道路(株)管理本部 制作：阪神高速道路(株)

阪神高速では、2022年6月より14号松原線（喜連瓜破～三宅JCT）を終日通行止めの上、橋梁架替工事を実施しました。都市高速を長期間に渡って通行止めにするという難工事の上、工事区間の直下には重交通を担う一般道の交差点があり、周辺地域は密集市街地となっていました。制約条件の多い中、移動式の架設桁を設置した既設コンクリート橋桁の撤去から、その後の鋼製橋桁の架設までを無事完了させました。

本作品では、事前計画・広報から、高速道の通行止め、旧橋の撤去・解体、新橋梁の設置、そして通行止めの解除と、事業の全ての期間における担当者の声を丁寧に拾いながら解説しています。

人々の暮らしを取り戻す 精鋭たちの総力戦～2016-2021 熊本県南阿蘇村—技術者たちの闘い

企画：人・夢・技術グループ株式会社 制作：葛谷正美・葛谷真由美

平成28年(2016年)に発生した熊本地震。最大震度7を記録し甚大な被害をもたらしました。

本作品は阿蘇大橋付近で発生した大規模な斜面崩落からの復旧や復興のシンボルでもある「新阿蘇大橋」開通に向けて立ち向かう土木技術者達の記録です。震災直後から現地に入り、余震の不安の中で応急調査。その後、限られた時間の中で、技術を結集し地盤調査設計、橋梁設計を完了させました。その力の根源は、“人々の暮らしを守る”という技術者の「使命感」でした。国民の暮らしを守るという使命感を持った技術者達の挑戦を描いています。

令和のリニューアル 北陸自動車道 米山トンネルのインバート補強

企画：東日本高速道路株式会社 新潟支社長岡管理事務所 制作：有限会社創映舎

北陸自動車道の米山トンネル下り線は建設以来、盤ぶくれによる路盤の変状が進行していました。

本作品は、令和3～4年度に行ったインバート補強による補強対策工事の記録を映像としてまとめたものです。